

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームじゃんけんぼん

(ユニット名)

グーユニット

記入者(管理者)

氏名

今村 タマキ

評価完了日

平成 19年 6月 16日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			施設のある地域以外の入所者もあり、必ずしも、実地出来ているとは言えない。		
			(外部評価)		
			事業所の理念をさらに分かりやすくまとめられ、利用者個々の「尊重と安らぎのある家」としての事業所作りに向け、取り組まれている。		さらに、事業所が、地域に密着した公的サービスの事業所として、地域の中で目指すことを明確にし、取り組んでいかれることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者が、ほぼ毎日施設を巡回し、職員に対して注意を促している。		
			(外部評価)		
			理念は事業所の各ユニットに掲示しておられる。事業所の理念を職員間で共有する機会は少ない。		さらに、今後、事業所では、すべての職員が集まるような機会を活かして、理念の共有に努めたいと考えておられた。事業所全体で目指すことを明確にされ、職員が一丸となって取り組んでいかれることが期待され
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営理念を施設の見やすいところに明示し、必要に応じて家族や地域の人々に説明している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝の清掃時など、近所の方、犬の散歩の方、通学中の児童・生徒へ明るく挨拶し、気軽に立ち寄ってもらえるイメージを持ってもらっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夏祭りなどの行事へ地域の方の参加を呼びかけたり、施設において「認知症」の講義を行っている。		
			(外部評価) 事業所の周り等を利用者と掃除をされる際に、近所の方と挨拶を交わしたり、利用者が飼っている犬を見に来る近所の子供達もいる。		さらに、事業所では、事業所主催の夏祭りや運営推進会議等、地域の方と関わるような機会を活かして、地域の方との関係性を深めて行きたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 施設内の仕事で手いっぱいであり、取り組めているとは言えない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価内容をミーティング等で共有し、良い方向へ改善しようと努力している。		
			(外部評価) 職員は、自己評価の項目を分けて取り組み、ユニットで話し合ってまとめられた。前回の外部評価を受け、ミーティングで話し合い、職員の利用者に対する声かけはゆっくりと行えるよう話し合われた。		さらに、自己評価作成への取り組みからの事業所自身の気付きが、改善への最大の起点でもあり、今後、サービス評価の意義をすべての職員で理解し、事業所のさらなる質の向上に活かしていけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議で出た意見について、職員間でも話し合うように している。		
			(外部評価)		
			これまで2回、運営推進会議を開催されている。事業所 の取り組み報告や認知症についての資料を配布し、出 席者で認知症の理解を深められた。		さらに今後、運営推進会議の機会を活かして地域やか かわる人達との関係を作って行きたいと考えておられ た。出席者の方からご意見やアイデア、協力をいただ きながら、事業所のさらなるサービスの向上につなげ ていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			職員については、連携についての認識が不足してい る。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時に市の担当者から「事業所と家族との 交流ができています」という感想をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			職員については、名称は知っているが、詳しい内容ま では理解できていない。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			安全への配慮が、行き過ぎとならないように努めてい る。 関連したニュース等に敏感に反応し、意見交換してい る。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約については、職員は余計な口を挟まず、管理者と利用者・家族との話し合いにまかせている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の様子に気を付け、話がしやすい雰囲気を作り、意見を聞き出している。出来ることについては、すぐに実行している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会に来られた時に口頭でお話している。金銭については、こずかいにでも明細を送っている。 (外部評価) ご本人の体調のことや変化については、早めにご家族に連絡をされている。便りを2ヶ月に1回発行して、利用者の様子を写真入で具体的にお伝えしておられる。ユニットの入り口には、「今日の勤務者」として顔写真と名前が示されており、ご家族や利用者がよく確認されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に話しやすい雰囲気を作り、頂いた意見については、管理者へ報告し、他の職員とも話し合っている。 (外部評価) 夏祭りを開催する前に家族会を行っておられる。ご家族の来訪時に職員が意見を聴き取り、話し合うようにされている。		ご家族は、「職員さんは、忙しそうだからこれ以上お願ひしては、気の毒だろうか。」というような気持ちを持っておられることもある。さらに、ご家族の意見やアイデア、要望が事業所の運営に反映できるよう、取り組みをすすめていかれることが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  改まった機会はないが、職員個々が管理者に相談することで、意見を述べている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  職員の数に余裕が無いため、出来る範囲の調整しかできていない。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  出来ている。  (外部評価)  職員がユニット間で異動する場合は、一人ずつで行う等、利用者のダメージに配慮されている。又、現在職員間のチームワークも良く、何でも相談し合えるような雰囲気となっている。		さらに、離職を必要最小限に抑える努力という面での、事業所の取り組みについても期待される。さらには、現場職員のストレス解消策への取り組みについても検討を重ねていかれることが期待される。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  特定の人だけが行くのではなく、交代で誰でもいけるようにする。  (外部評価)  県のGH連絡協議会主催の職員研修を受講することはあるが、現在、職員が外部研修を受けるような機会は少なめである。		研修の機会を増やして欲しい。  職員からも外部研修を受けたいというような意見が出されている。さらに、すべての職員が段階に応じて研修を受けられるよう、計画的にすすめていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同業者との交流は無い。		同業者と交流する機会をつくるようにしたい。
			(外部評価)		
			外部研修等で地域の他事業所とともに勉強されている。		さらに、他の事業所との交流ができるようネットワーク作りをすすめていかれてはどうだろうか。県GH協議会等の相互研修の機会等をさらに活かして、貴事業所のさらなる質の向上が期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			出来ていない。		休憩時間・場所がない。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			わからない。		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			受け止めることができることは努力して良くして行く。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 地域・家族が集まって懇談会を開いているので、求めるものがあれば、聞くことも出来るし、それなりに努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努力している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が納得しているかどうかまま、いきなり開始が多い。 (外部評価) 入居時、居室等に馴染みのものを持ち込んでいただけるよう声かけをされている。ご本人が事業所で安心して生活出来るよう雰囲気作りに努めておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔話を聞いたり、一緒に歌を唄ったりする。 (外部評価) 利用者は、料理の作り方や趣味のこと、昔話や新聞で得た情報を職員に教えてくれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 努力している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 支援はしているが、上手く行かない場合もある。		いつでも、面会に来られるようにしている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 毎年、同窓会を楽しみにしている方がいるので、いつまでも元気でいられるようリハビリをしている。		毎日、ユニット内を散歩している。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 努力しているが、難しい。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			努力しているが、難しい。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の好きなもの嫌いなものについて日々の中から探り、それらを踏まえて声かけやケアを行なっておられる。		日々から得た利用者個々の状況に、蓄積していけるような取り組みが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			出来るだけ努力している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎日、日誌を書いている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			月に1～2回のミーティングを開き、意見交換、アイデアを出し遣っている		
			(外部評価)		
			現在は、職員が集まり担当職員を中心に話し合っ、計画を作成されている。		さらに、ご本人やご家族の思いや意向、希望等を聞き取り、計画に反映していけるような取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				3ヶ月に1度ケアプランを立て、家族の方に見ていただく。	
			(外部評価)		
					3ヶ月に1回の見直しを行っている。見直しの際には、ご家族に確認をしていただくようになっている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				日々の様子や行動を個人別に日誌に記入している。	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				わかりません	
			(外部評価)		
					併設のデイサービスでの音楽会を利用者も一緒に楽しまれている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価)  ・学生のボランティアさんを受け入れている。 ・消防訓練も実地している。 ・事故の場合、連絡体制も把握している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価)  わかりません。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)  わかりません。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)  それぞれ、かかりつけの病院があり、緊急連絡先も把握している。  (外部評価) かかりつけ医への受診は、職員が同行し、医師と状態についてお話をされている。又、状態に応じて訪問看護の利用等もされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価)  往診時には、職員立会いのもと、利用者の状態を聞いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  病状によって、週に数回訪問看護師が来ている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  わかりません。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  家族さんとは連絡をとり、状態を伝え今後の方針を決めている。		
			(外部評価)  いざという時には、ご家族の希望を聞き取り、対応されている。		さらに、ご本人の意思等を踏まえ、かかわる人たちが話し合うような機会についても期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  緊急連絡先を把握し、状態に応じた処置を行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  わかりません。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>外部に状態を漏らさない。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>利用者さんと話し合いをして、なるべく希望が叶うようにしている。</p>		<p>ご本人やご家族の希望であるようだが、事業所の理念等とも合わせながら、尊厳という観点から話し合ってみる機会とされてはどうか。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者さんのペースに合わせ、過ごしやすい環境を作る。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の提案でベッドに鈴を付け、職員の手を貸してほしいような時に知らせられるよう、工夫をされている方もおられた。</p>					<p>現在、事業所では、日々の流れが職員のペースになっているということを感じておられる。利用者個々のその人らしいペースを尊重した生活を支援できるよう、職員のかかわり方について話し合ってみてはどうか。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価) 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月1回は理容・美容の人が施設に訪問して希望通りできる。時には、口紅やマニキュアなどもつけて楽しんでいる。		希望の店へ行けるように取り組んでみたい。
54	22	(自己評価) 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の中でも準備が出来る方がいない。片付けについては、職員と一っしょに実施している。		
55		(自己評価) 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(外部評価) 法人代表者は、利用者においしいものを食べてほしいと考えておられ、新鮮な魚等が提供されている。誕生日には、食べたいものをご本人に聞き、皆で楽しく食事できるようにされている。		一人一人の好き嫌いを把握しており、その日により違った飲み物おやつにし、リビングや居室にて楽しめている。
56		(自己評価) 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人一人のパターンに合わせた対応を支援している。		排泄の出来ない人には、時間を決めトイレ誘導したり、声かけをし、トイレにて排泄出来るよう取り組んでいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			職員の人数により、時間や曜日を決めて入浴しているが、入浴中は利用者が楽しめるよう希望によって自分の好きな入浴剤を入れるようにしている。		毎日入浴したい人もいるが、職員が少ないため希望に添えないので、出来る限り希望に近づけるように取り組みたい。
			(外部評価)		
			一番に入浴する方が、入浴剤を好みのものにする等されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			各居室や中庭、リビングなどあり、利用者が安心して休息できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者が高齢なため、役割等は決めず、その時の気分によって出来ることをしてもらったり、居室にこもりきりにならないためリビングや中庭等いつでも使用できるようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者が作った小物を事業所主催の夏祭りで売ったり、夜間、居室でテレビを見ながらビールを楽しめる方もおられる。音楽を聴いたり、犬やメダカのお世話をされている方もおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			金銭管理が出来る方には、買い物や外出時には、本人に支払ってもらうようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			職員も少なく、一人一人の希望に添うことはしていない。		散歩等の支援をしていきたい。
			(外部評価)		
			現在、月に1回の外出の機会を設けておられる。朝夕、犬の散歩等に職員と出かける方もおられるが、日常の外出の機会は、少なめである。		事業所では、外出の機会を増やしたいと考えておられる。ご本人やご家族の希望等も聞きながら、取組みを進めていかれることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			一人一人が行きたい場所には、職員も少ないため行けないが、季節折々(お花見等)は出かけている。		月1回は利用者の外出希望に添うような場所に行けるよう計画し取り組んでいきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時いつでも対応できている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪問できるように玄関は開放しており、自由に出入り出来る。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束しないケアは、全職員把握している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室や玄関は日中開放している。  (外部評価) 玄関は施錠されておらず、利用者は デイサービスの方へも出入りしておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員が利用者のプライバシーに配慮しながら状態を把握し安全を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人一人の状態に応じ危険を防ぐよう取り組んでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一部の職員しか対応出来ていない。		マニュアルや連絡網を作りたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  一部の職員しか対応出来ていない。		全職員に対し、訓練等を実施して欲しい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  ホーム内での避難方法等は身につけている。  (外部評価)  避難訓練時 車いすの方の避難方法等についても検討をされた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  起こり得るリスクを説明し、対応策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎日の変化で早期発見に努め、その都度対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  ある程度理解し支援している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価)  水分摂取などに努め、便秘の予防に取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価)  職員が声かけ介助を行い、自分で行えない方には、舌たいがつかないように、毎日支援している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  週毎に献立が決められ、日誌には、食事量・水分摂取量を記入し支援している。  (外部評価)  ペットボトルにお茶を入れて居室にも置いておられた。お好きなコーヒーを毎朝飲まれる方もいる。水分の取りにくい方には、再々声かけをされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価)  インフルエンザ等の予防接種はできている。疥癬時は、他の利用者への感染を防ぐため、手洗い・消毒に努めた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>賞味期限の切れているものは廃棄し、できるだけ加熱し、安全に努めている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関のカギを開放して、家族の方々が出入りしやすくなっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>カーテンやずたれなどを使用し、出来ている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>中庭やテラス等 利用者がお好きな時に外気に触れることができる造りになっている。又、廊下に椅子やテーブルを設置されており、心地よいスペースとなっていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの利用者の気持ちを大事にし、対応できている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			タンスや食器類など、本人の使い慣れた物を使用している。		
			(外部評価)		
			居室には、これまで使用していた馴染みのタンスや置物が多く持ち込まれており、それぞれが個性の見られる空間となっていた。調査訪問時、趣味のものや写真に囲まれたお部屋に招待され、写真を見ながらいろいろな思い出をお話して下さった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝空気の入換えを行い、必要時にはエアコン等を使い、利用者への配慮を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下には、手すりや障害物がなく、安全に歩行できるようになっている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者さんの話を聞いて声かけを行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			花壇などがあり、利用者さんが楽しめるようになっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいの	利用者の思いや願いなど掴んでいると思うが、思うようにその願いをかなえてあげる事が少ない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある	10時と15時には、おやつを取っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	各利用者の方々は、自分なりの時間の過ごし方をされていて、リビング内を歩かれる練習をする方や、テレビ観賞される方、居室へ戻られ休まれる方など、いろいろとおられ、自分なりのペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	ほとんど車椅子の生活をされている方でも、排泄の時はトイレでなるべくさせてあげるよう心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ④ ほとんどいない	自力で歩いて外出できる方が少なく、その為のスタッフがいない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	料理は一週間の献立を作り、二週間に一度は往診にドクターが来てくださっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と	家族さんとのコミュニケーションを取っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ ほとんどない	意外と孤立していて地域の方々の訪問がないが、ここ最近、月に一度は家族の人、地域社会の方々の会議が行われるようになった。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ③あまり増えていない	運営推進会議が開催されるようになってから日が浅いため、まだ、わからない。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が	スタッフ同士が常に声かけをし、助け合い互いを尊重しあって皆で協力している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③利用者の1/3くらいが	外へ出たいという希望があるが、どうしても全員は不可能である。出られる片も利用者さん1名につきスタッフ一名がつかないと難しい車椅子の利用者が多い。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③家族等の1/3くらいが	毎月のたよりなどは各利用者の家族さんに送っている。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

各利用者の御家族とは問題ができると、連絡を取りそくぎに解決できるようにしている。  
 御家族が来られると日頃の様子とかは細かく説明できるように各スタッフ同士で話し合っている。  
 近所の子供が遊びに来たり、ボランティアで中学生が来てくれたりしている。